

地域課題・目指す将来像

地域
課題

- 運転免許証を自主返納する高齢者は増加（塩尻市内における65歳以上の免許返納者：H30年189件→R2年261件、R3年252件）しているが、自家用車分担率（74.6%）が高い塩尻市においては**免許返納後の自家用車以外の交通手段確保が課題**
- 鉄道のカバーエリアが限られる中で、それを補う**地域振興バスは便数が少なく、バス・タクシーはドライバーの高齢化による担い手不足と人件費高騰により、持続性が懸念**されている

将来像

- 自動運転に加え、オンデマンドバスやMaaSを一体的に取り組み、公共交通の利便性向上を図り、「次世代交通がもたらす誰もが安心して便利に暮らせる地域社会」への変革を目指す

推進体制

地方公共団体
塩尻市・長野県

民間事業者

アイサンテクノロジー(株)・(株)ティア
フォー・損害保険ジャパン(株)・
KDDI(株)・アルピコ交通(株)・(一
財)塩尻市振興公社 他塩尻市未来技術
地域実装協議会
(塩尻MaaS協議会)

伴走型支援

大学

国立大学法人
信州大学警察庁・経済産業省
国土交通省

現地支援責任者

(国土交通省 関東地方整備局)

課題解決に向けた取組

高度無人自動運転サービスの地域実装、既存地域公共交通サービスへの自動運転技術の導入
⇒次世代交通による誰もが安心して便利に暮らせる地域社会の実現

高度無人自動運転サービス社会実装事業

- ・ 2025年度までに**高度無人自動運転サービス（Lv4相当）**を市内市街地の生活道路において地域実装（自動運転による公共移動サービスの常態化）し、市街地内の地域公共交通サービスとして確立
- ・ 5G通信、遠隔運行管理システム導入、保険見守りサービスによる**複数車両遠隔運行**を行う
- ・ 都市部企業から技術移転を受けた**地域デジタル人材が地元交通事業者と連携しながら自動運転運行・車両管理**を担う
- ・ 車両開発、インフラ環境整備（信号連携やスマートポール、KADOによる高精度3次元地図など）、地域デジタル人材育成、交通DXプロジェクトの塩尻型MaaS（AI活用型オンデマンドバス等）との連携を図る



(写真・図：塩尻市提供)

2022年度の
主な取組

- （車両）GSM8の開発・整備
- （人材育成）自動運転オペレータ育成
- （社会受容性）試乗会・シンポジウム等の開催
- （環境整備）信号機連携・ITSスマートポールの高度化、遠隔監視の高度化・保険見守りサービスの検証、3次元地図製作
- （MaaS連携）固定端末による自動運転予約、塩尻MaaSとのサービス・データ連携実証

取組内容

塩尻市立桔梗小学校校庭における小学生向け自動運転試乗会（2022年11月8日～11月10日）

- 若年層の自動運転に対する社会受容性向上、技術・ものづくりに対する興味関心、知的創造力の向上、次世代デジタル人材の育成を目的に、桔梗小学校校庭において4～6年生約300人を対象とした自動運転バス試乗会を実施



試乗会



試乗会の様子



タブレットを使い、欠席の友人に車内の様子を伝える



都市部企業社員に自動運転技術について質問



記念写真

実施内容

- 校庭内約200mコースにおいて、4～6年生304人、先生20人がEV型自動運転バスに試乗
- 試乗会の体験を家族等に共有するため、タブレットによる動画・写真撮影を行ったほか、欠席のクラスメイトとオンラインで接続し、車内の様子を共有
- 試乗後、事前に考えた自動運転技術に関する疑問等を都市部企業社員へ質問
- 新聞社5社、TV局2社が取材

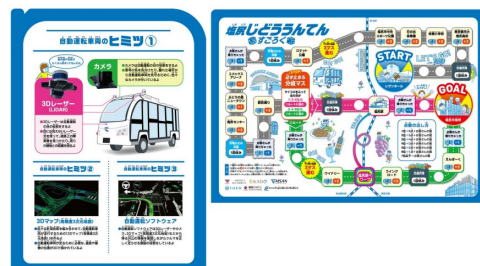
取組内容

塩尻市立桔梗小学校周辺における自動運転一般試乗会（2022年11月8日～11月10日）

- 自動運転に対する社会受容性向上に向けた一般試乗会を開催
- 桔梗小学校周辺1.2km/周、土日は高校生以下限定とした



試乗会



自動運転ノベルティグッズ（クリアファイル）



親子連れによる試乗

実施内容

- 桔梗小学校周辺一般公道約1.2kmにおいて、試乗希望者168名（土日は高校生以下限定）がEV型自動運転バスに試乗
- 31名の視察（自動運転関連企業、自治体、市議会議員等）のほか、高校生のみの試乗や桔梗小学校において試乗した生徒が親・兄弟等と試乗するために来場するケースが多数
- 自動運転ノベルティグッズ（クリアファイル、鉛筆、消しゴム）を作成し、配布

取組内容

国土交通省自動運転実証調査事業による市内一般公道における自動運転実証実験（1/2）
（2022年12月、1月）

<使用車両>



- 開発: 株式会社ティアフォー
- 定員: 乗客7人
- 台数: 1台
- 運転手: 株式会社ティアフォー
及びアルピコ交通株式会社

<特徴>



自動運転車両の運行に関わる技術(運転、車両管理、遠隔監視等)を都市部企業から地域交通事業者及びKADO人材へ移転し、持続可能な運行体制を構築する

■実証実験体制

実証実験主体	塩尻市及び一般財団法人塩尻市振興公社
参画団体	アイサンテクノロジー株式会社、株式会社ティアフォー、損害保険ジャパン株式会社、アルピコ交通株式会社、日本信号株式会社、三菱電機株式会社 他
サービス	自家用車以外の交通手段確保、既存公共交通の利便性・持続性等の交通課題解決に向けた新たなモビリティサービス
運賃	無料
試乗運行スケジュール(予定)	令和4年12月12日～12月16日(8時～16時) 令和5年1月11日～1月20日(8時～16時) 午前7便/日、午後8便/日

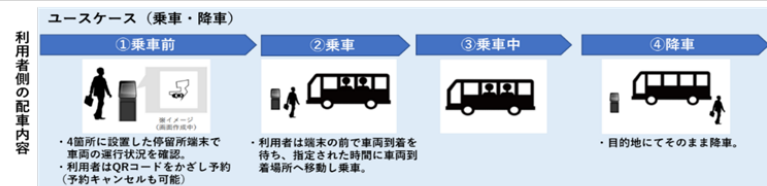
■走行ルート

ルート①: 全長3.2km ルート②: 全長1.2km



通勤・通学時間帯 & 下校・帰宅時間帯	塩尻駅東口ロータリー⇒塩尻市役所前⇒志学館高校ロータリー⇒塩尻市役所ロータリー⇒えんばーく前⇒塩尻駅東口ロータリー
日中時間帯	塩尻駅東口ロータリー⇒塩尻市役所ロータリー⇒えんばーく前⇒塩尻駅東口ロータリー

塩尻駅、塩尻市役所、市民交流センターえんばーく（図書館・子育て支援等複合施設）、塩尻志学館高校に固定型予約配車端末を設置。端末から乗車予約し、別端末設置場所まで自動運転車両で移動する。



取組内容

国土交通省自動運転実証調査事業による市内一般公道における自動運転実証実験（2/2）
（2022年12月、1月）一般
試乗会

1/11始発便（市民4名、高校生2名乗車）



テレビ生中継の様子（1/18 13:55）

試乗

- マスコミ（テレビ、新聞）、市広報、SNSなどで情報発信し、事業周知や試乗案内を実施
- 高校生、高齢者などの地域住民に加え、市外（県外）からの視察による試乗あり
- アンケートは集計中
- 試乗者等からの主なコメント
 - ・自動運転のチラシを見て、興味があって乗りに来た（60代男性）
 - ・ゆっくりで安心感があった。また後日乗りたい（30代女性）
 - ・子供が楽しみにしていて乗りに来た。楽しかった（20代女性）
 - ・中山間地で自動運転バスを走らせて欲しい（70代男性）
 - ・短距離は健康のためにも歩くので使わない（80代女性）
 - ・スマホでも予約できるとよい（70代男性）
 - ・一駅分くらい行かなければ乗りたい（10代女性）
 - ・主人とともに乗った。新しい取り組みを積極的に進めてほしい（60代女性）

技術実証

- 車両内配線の接触不良により、16日の運行を終日休止
- それ以外で車両、運行体制、通信（遠隔・信号機）などに大きなトラブルなし
- 実証終了後、運行データ収集・分析を予定